

事業評価シート（令和6年度）

<令和6年度（令和5・6（上半期）年度事業分）>

担 当 課	企画課
事 業 名	⑥関係人口創出事業

総合戦略 対応ページ: 52頁

【個別判定】

評価の基準（個別評価項目）			評価判定	備考
1	重要業績評価指標（KPI）の達成	取組事業が総合戦略のKPI達成に効果的であったか。	☐ A 効果は極めて高い ☒ B 効果は高い ☐ C 効果は低い	PR方法の検討、先進地の取組を参考に進めてほしい。 予想より参加者が多く将来的に楽しみ、数値的目標がMTBのみで偏っているため指標を増やすことも検討してみてもどうか。 MTB、アガッタンの発想具現化は良い。
2	妥当性・必要性	町が行う事業としてその目的が妥当であるか。公的資金を投入する必要があるか。	☐ A 妥当性・必要性が極めて高い ☒ B 妥当性・必要性が高い ☐ C 妥当性・必要性が低い	東吾妻町の良さを広くPRして欲しい。
3	有効性・効率性	当該事業が手段として有効であるか。効率的に行われているか。	☐ A 有効性・効率性が極めて高い ☒ B 有効性・効率性が高い ☐ C 有効性・効率性が低い	企画課、役場内の検討だけでなく、外部専門機関と連携、委託の検討もしてみるべき。 実績が伴っていない。アンケート等で確認が必要ではないか。
4	優先度	限られた財源の中で、他の事業に比べて緊要であるか。（優先比較が困難な場合は、B）	☐ A 優先度が極めて高い ☒ B 優先度が高い ☐ C 優先度が低い	ふるさとサポーター登録、アンバサダー委嘱によるSNSでの情報発信は時代に合った取組と思われる。
5	継続の必要性	継続事業について、今後も継続して行う必要があるか。	☒ A 継続すべき ☐ B 見直して継続すべき ☐ C 継続の必要性が低い	町の資源を有効活用し、町の良さを広め、より積極的な取り組みを望む。 MTB、アガッタン等は周知されてきており今後も継続してほしい。
6	他事業との重複	他の事業と統合することにより、合理的かつ効果的な事業とすることができないか。（外郭団体等を含めて）	☐ A 重複なし ☒ B 重複事業があるが統合不可 ☐ C 統廃合すべき	観光協会、商工会、文化協会、スポーツ協会などと連携しより工夫した取組を進めてほしい。
7	住民からの観点	住民目線の観点から町民の負担を軽減させるなど、必要性や効果について期待されているか。	☐ A 期待感が極めて高い ☒ B 期待感が高い ☐ C 期待感が低い	一般住民の関心は高くないかと思います。

【総合判定】

☒ 現状維持
☐ 拡充
☐ 見直し

《評価コメント》

関係人口創出事業としてふるさとサポーター制度、体験型ふるさと納税返礼品を主に行っており、関係人口を増やす取組として有効と考える。

ふるさとサポーター制度は、昨年度より開始した事業で、先進地での取組も参考に進めていってほしい。

ふるさと納税返礼品は、MTB（マウンテンバイク）・アガッタンは周知されてきており今後も継続をしてほしい。また、関係機関などと連携して町内の資源を活用した返礼品の掘り起こしを行い、PR方法についてはメディアの活用も含めて行うなど積極的に検討を進めてほしい。

次期計画策定に向けて、重要業績評価指標（KPI）についてはMTBだけでなく、体験型ふるさと納税返礼品の品目数などについて追加することも検討してほしい。

事業評価シート（令和6年度）

＜令和6年度（令和5・6（上半期）年度事業分）＞

担 当 課	まちづくり推進課
事 業 名	⑦企業誘致セールス事業

総合戦略 対応ページ: 52頁

【個別判定】

評価の基準（個別評価項目）			評価判定	備考
1	重要業績評価指標（KPI）の達成	取組事業が総合戦略のKPI達成に効果的であったか。	☐ A 効果は極めて高い ☒ B 効果は高い ☐ C 効果は低い	誘致宣伝回数が0回はいただけない。地元企業の応援は継続してほしい。 近隣企業に対するPR・コミュニケーションが少ない。
2	妥当性・必要性	町が行う事業としてその目的が妥当であるか。公的資金を投入する必要があるか。	☐ A 妥当性・必要性が極めて高い ☒ B 妥当性・必要性が高い ☐ C 妥当性・必要性が低い	企業誘致などの大規模事業は役場が先頭に立って行ってほしい。 規模の拡充だけで無く新設備の導入時や設備の更新時にも一定の基準での補助を検討してほしい。
3	有効性・効率性	当該事業が手段として有効であるか。効率的に行われているか。	☐ A 有効性・効率性が極めて高い ☒ B 有効性・効率性が高い ☐ C 有効性・効率性が低い	補助・優遇措置はありがたいが、自立に向けた支援も必要。
4	優先度	限られた財源の中で、他の事業に比べて緊要であるか。（優先比較が困難な場合は、B）	☐ A 優先度が極めて高い ☒ B 優先度が高い ☐ C 優先度が低い	
5	継続の必要性	継続事業について、今後も継続して行う必要があるか。	☒ A 継続すべき ☐ B 見直して継続すべき ☐ C 継続の必要性が低い	企業が離れ、新しく来ないと若者の働き口は町外へ向かってしまう。
6	他事業との重複	他の事業と統合することにより、合理的かつ効果的な事業とすることができないか。（外郭団体等を含めて）	☒ A 重複なし ☐ B 重複事業があるが統合不可 ☐ C 統廃合すべき	施設設置や土地取得等の大規模な企業に加え、小規模企業や若者起業等も支援してほしい。
7	住民からの観点	住民目線の観点から町民の負担を軽減させるなど、必要性や効果について期待されているか。	☐ A 期待感が極めて高い ☒ B 期待感が高い ☐ C 期待感が低い	働く場所の確保が必要。魅力ある企業の誘致に加え、町民の起業も応援してほしい。 町外企業の誘致に限らず地元企業の活性化に繋げていってほしい。

【総合判定】

☒ 現状維持
☐ 拡充
☐ 見直し

《評価コメント》

企業立地促進については、4年間で町内の雇用50人を創出したことは評価できる。

今後は、町内事業者とも日頃からの情報交換を行い、地元企業が活性化するように拡充も視野に継続をしてほしい。また、新たな起業について若者に対する起業支援を行っているが対象を広げるなど検討が必要と考える。

企業誘致については、町内の遊休土地などの再活用できる資産の洗い出しも行い、上信自動車開通に向けて積極的な誘致活動を行ってほしい。

事業評価シート（令和6年度）

<令和6年度（令和5・6（上半期）年度事業分）>

担 当 課	建設課
事 業 名	⑩地域で住み続けられるまちづくり推進事業

総合戦略 対応ページ: 55頁

【個別判定】

評価の基準（個別評価項目）			評価判定	備考
1	重要業績評価指標（KPI）の達成	取組事業が総合戦略のKPI達成に効果的であったか。	☐ A 効果は極めて高い ☒ B 効果は高い ☐ C 効果は低い	残念ながら人口増には結びついていない。住民課題を解決するプランが策定された。アクションプランではより魅力のある施策について検討してほしい。
2	妥当性・必要性	町が行う事業としてその目的が妥当であるか。公的資金を投入する必要があるか。	☐ A 妥当性・必要性が極めて高い ☒ B 妥当性・必要性が高い ☐ C 妥当性・必要性が低い	空家を移住者に提供することも良いとは思いますが、傷みが激しければ除却することも必要だと思う。より良いものにするため、常にプランの見直しも検討してほしい。
3	有効性・効率性	当該事業が手段として有効であるか。効率的に行われているか。	☐ A 有効性・効率性が極めて高い ☒ B 有効性・効率性が高い ☐ C 有効性・効率性が低い	事業のスムーズな実施を期待する。
4	優先度	限られた財源の中で、他の事業に比べて緊要であるか。（優先比較が困難な場合は、B）	☒ A 優先度が極めて高い ☐ B 優先度が高い ☐ C 優先度が低い	出産したくても、町内に産める場所が無い。産科医を含めた子育て支援の充実が急務。
5	継続の必要性	継続事業について、今後も継続して行う必要があるか。	☒ A 継続すべき ☐ B 見直して継続すべき ☐ C 継続の必要性が低い	子育て教育環境を充実させる取組は充実しているが、他の事業についての検討拡充が必要。
6	他事業との重複	他の事業と統合することにより、合理的かつ効果的な事業とすることができないか。（外郭団体等を含めて）	☐ A 重複なし ☒ B 重複事業があるが統合不可 ☐ C 統廃合すべき	産・学・官の連携を進め若い学生がまちづくりに関わると良い。
7	住民からの観点	住民目線の観点から町民の負担を軽減させるなど、必要性や効果について期待されているか。	☐ A 期待感が極めて高い ☒ B 期待感が高い ☐ C 期待感が低い	多岐に渡る内容でとても大切。

【総合判定】

- ☐ 現状維持
☒ 拡充
☐ 見直し

《評価コメント》

具体的なまちづくりの取組を着実に進めるための実行計画（アクションプログラム）について期待するものが多く、関係機関・役場各課との連携を密にして達成に向けて取り組んでほしい。

住民がこのプランを理解できるよう周知が必要と考える。また、住民参加の機会を設け、意見・ニーズを取り入れた事業展開を進めていくことが重要と考える。

群馬原町駅周辺を中心としたまちづくりも大切だが、今後は上信自動車道開通も踏まえた対応も必要になってくると思われる。

事業評価シート（令和6年度）

＜令和6年度（令和5・6（上半期）年度事業分）＞

担 当 課	保健福祉課
事 業 名	㊸「子育て応援隊」育成事業

総合戦略 対応ページ: 56頁

【個別判定】

評価の基準（個別評価項目）			評価判定	備考
1	重要業績評価指標（KPI）の達成	取組事業が総合戦略のKPI達成に効果的であったか。	☐ A 効果は極めて高い ☒ B 効果は高い ☐ C 効果は低い	より活性化を図ってほしい。 民間委託のPRも必要。
2	妥当性・必要性	町が行う事業としてその目的が妥当であるか。公的資金を投入する必要があるか。	☐ A 妥当性・必要性が極めて高い ☒ B 妥当性・必要性が高い ☐ C 妥当性・必要性が低い	家族を持ちたくなるために核になる事業で今後も拡充して欲しい。
3	有効性・効率性	当該事業が手段として有効であるか。効率的に行われているか。	☐ A 有効性・効率性が極めて高い ☒ B 有効性・効率性が高い ☐ C 有効性・効率性が低い	より多くの活動、活躍の場を設けて欲しい。
4	優先度	限られた財源の中で、他の事業に比べて緊要であるか。（優先比較が困難な場合は、B）	☐ A 優先度が極めて高い ☒ B 優先度が高い ☐ C 優先度が低い	優先度は高いが出生数がそれほど多くないので現状規模で継続をしていて欲しい。
5	継続の必要性	継続事業について、今後も継続して行う必要があるか。	☒ A 継続すべき ☐ B 見直して継続すべき ☐ C 継続の必要性が低い	
6	他事業との重複	他の事業と統合することにより、合理的かつ効果的な事業とすることができないか。（外郭団体等を含めて）	☒ A 重複なし ☐ B 重複事業があるが統合不可 ☐ C 統廃合すべき	子育てだけでなく、老人福祉・児童支援を含め多くの人で応援出来る社会に向かって欲しい。
7	住民からの観点	住民目線の観点から町民の負担を軽減させるなど、必要性や効果について期待されているか。	☐ A 期待感が極めて高い ☒ B 期待感が高い ☐ C 期待感が低い	住民ボランティアの活躍はこれからますます大事になってくるため活躍の場のPRも必要。

【総合判定】

☒ 現状維持
☐ 拡充
☐ 見直し

《評価コメント》

子育て支援は、日本社会全体における問題だが、子育て応援隊のような取組は必要であり、今後も保護者ニーズも把握して取組を進めてほしい。今後、子育てだけでなく様々な分野で住民ボランティアの活躍はますます大事になってくるため、活動の周知を行い理解し協力を得られるようにして欲しい。また、他市町村の取組についても調査検討しながら子育てをしやすいまちづくりを進めて欲しい。